



Corporate Profile 2026

西日本高速道路株式会社
会社概要



ご挨拶

高速道路は、我が国の生活・経済活動を支える重要インフラであり、NEXCO西日本グループは、その機能とサービスを24時間365日、間断なく提供するため、日々、安全・安心を最優先に事業を推進しています。こうした使命を果たすため、すべての事業に共通する基盤である「工事の安全管理」を最重要課題と位置付け、リスクの早期把握と未然防止にグループ一体となって取り組んでいます。

建設事業では、新名神高速道路などの新設事業について、安全を最優先に早期開通を目指し着実に推進するとともに、4車線化事業を進めることでネットワークの強化を図っています。また、保全事業では、自然災害への迅速な対応に加え、リニューアル・耐震補強工事を計画的に進め、高速道路の機能と信頼性の向上を図っています。さらに、SA・PA事業においても、施設の刷新や地域との連携を通じて、お客さまに新たな価値を提供しています。

一方で、自然災害の激甚化、人手不足の進行、資材価格や労務費の上昇、さらには脱炭素や技術革新への対応など、経営環境は大きく変化しています。

こうした環境変化に的確に対応し、将来にわたり安定的にサービスを提供していくため、今後5ヵ年の道しるべとして中期経営計画「MOVE!2030」を策定しました。

高速道路事業の高度化と関連事業の拡充を両輪に、グループ一体となって新たな価値の創造に取り組んでまいります。

引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西日本高速道路株式会社
代表取締役社長

芦村 重治

グループ理念

私たちは、高速道路の安全・安心を最優先に、
高速道路の進化に挑み続け、
地域の発展と豊かな未来の実現に貢献します。

「MOVE!2030」における3つのビジョン

着実に進める

Move up!

安全・安心を追求し、
高速道路を
未来へつなげる。

広げる

Move ahead!

新たな価値を創造し、
地域とともに
発展する。

成長する

Move forward!

社会から信頼され、
着実に歩み続ける
企業を目指す。

ブランドスローガン

みち、ひと…未来へ。

安全・安心・快適な高速道路が結ぶ、人と人、地域と地域。
夢ひろがるアイデアと、心のこもったサービスで
新しい出会いや喜びを生み出します。
NEXCO西日本は、100年先の未来に向け
技術の革新と新たな価値の創造に挑み続けます。

2026年8月に全線開通30周年を迎える広島呉道路

事業の枠組み



NEXCO西日本の事業エリアは、西日本地域の24府県(福井県・滋賀県～沖縄県)です。

西日本には数多くの史跡や名所、豊かな自然、魅力あふれる文化があります。

地域のさまざまな「価値や魅力」を高速道路で「つなげる」ことで、

物流や生活、文化、観光などあらゆる側面において地域の可能性は広がっていきます。

高速道路凡例

営業中

建設中※

NEXCO西日本グループが
管理するその他の道路

他の道路管理者が
管理する道路

※ 事業中のインターチェンジ等の名称は仮称を含む ※ 一部6車線化及び4車線化事業を含み表示している

標記上の略称 SA：サービスエリア PA：パーキングエリア JCT：ジャンクション S：スマートインターチェンジ

事業紹介			
高速道路事業			備考
営業中道路		3,625km	2026年7月現在
利用台数		313万台/日	2025年度実績
料金収入		8,041億円	2025年度実績
建設中道路	新設区間	72km	2026年7月現在
	6車線化区間	18km	
	4車線化区間	183km	
営業中インターチェンジ		480ヵ所	2026年7月現在
	うちSIC	40ヵ所	2026年7月現在
SA・PA事業			備考
サービスエリア		100ヵ所	うち第三セクター運営を除く 有人施設 94ヵ所
パーキングエリア		213ヵ所	うち第三セクター運営を除く 有人施設 100ヵ所
売上高		1,849億円	2025年度実績

※1 6車線化の延長には、新設事業中の新名神(大津JCT～城陽JCT、八幡京田辺JCT～高槻JCT)を含まない

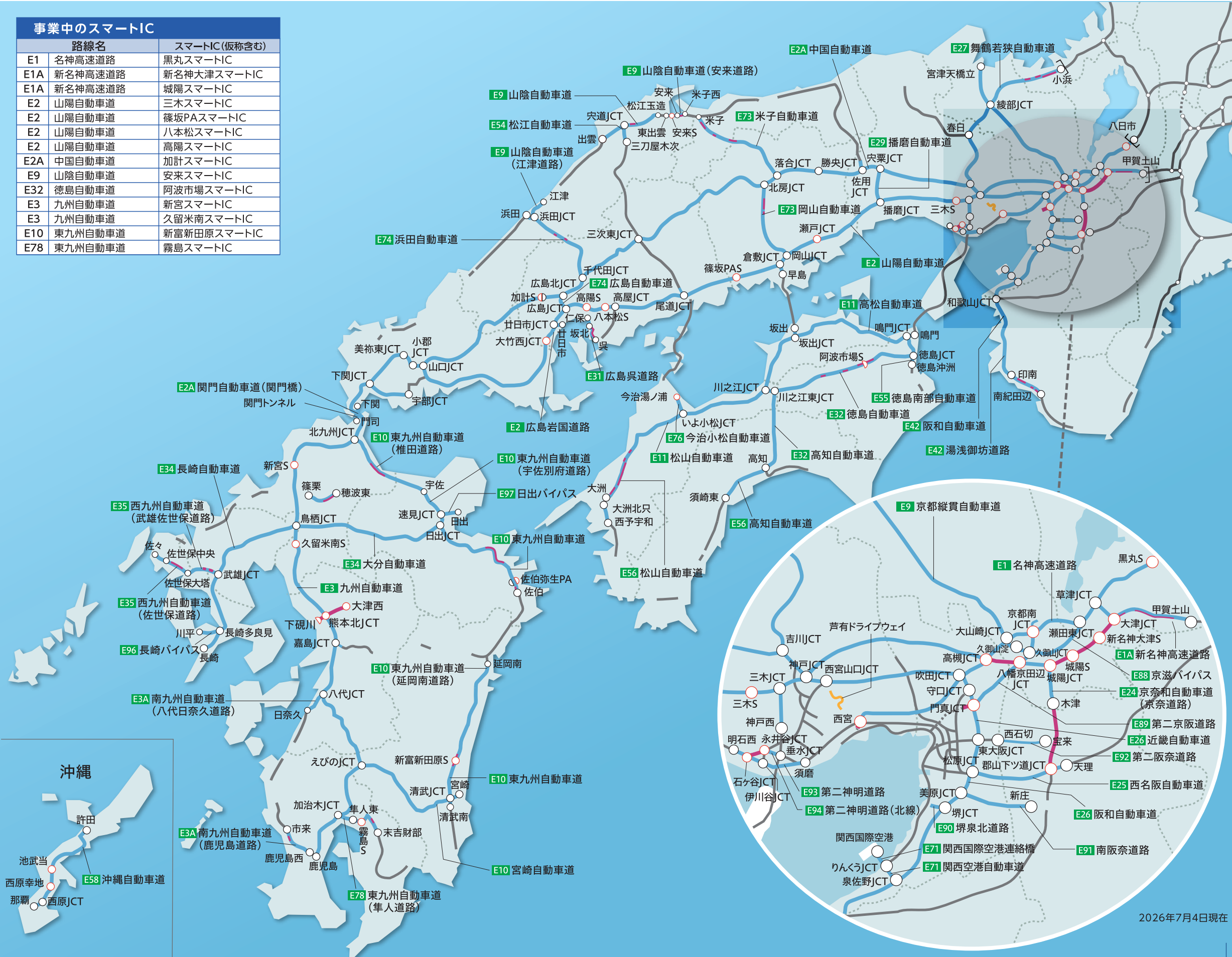
※2 飲食物販、ガソリンスタンドの売上高

建設中区間の延長 (新設区間)			
路線及び区間			延長
E1A	新名神高速道路	(大津JCT～城陽JCT)	25km
		(八幡京田辺JCT～高槻JCT)	10km
—	淀川左岸線延伸部	(阪神高速道路接続部～門真JCT)	1km
E24	一般国道24号(京奈和自動車道(大和北道路))		12km
E94	一般国道2号(第二神明道路(神戸西バイパス))		7km
—	一般国道43号(名神湾岸連絡線)		0.3km
—	一般国道57号(中九州横断道路)		17km
合 計			72km

建設中区間の延長 (6車線化及び4車線化区間)			
路線及び区間			延長
6車線化	E1A	(甲賀土山IC～大津JCT)	18km
		(大津JCT～城陽JCT)	(25km)
		(八幡京田辺JCT～高槻JCT)	(10km)
		6車線化計	18km
	E27	舞鶴若狭自動車道(舞鶴東IC～小浜IC)	23km
4車線化	E42	阪和自動車道(印南IC～南紀田辺IC)	9km
	E73	岡山自動車道(賀陽IC～北房JCT)	8km
	E73	米子自動車道(蒜山IC～米子IC)	17km
	E9	一般国道9号(安来道路)(米子西IC～安来IC)	7km
	E9	山陰自動車道(松江玉造IC～宍道JCT)	3km
	E74	浜田自動車道(大朝IC～旭IC)	11km
	E31	一般国道31号(広島呉道路)(坂北IC～呉IC)	12km
	E32	徳島自動車道(土成IC～吉野川スマートIC)	17km
	E56	松山自動車道(伊予IC～大洲IC)	19km
	E10	一般国道10号(椎田道路)(みやこ豊津IC～椎田南IC)	9km
	E10	東九州自動車道(大分宮河内IC～佐伯IC)	16km
	E10	東九州自動車道(高鍋IC～西都IC)	5km
	E78	東九州自動車道(末吉財部IC～国分IC)	7km
	E35	一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))(武雄南IC～波佐見有田IC)	5km
	E35	一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))(佐世保中央IC～佐世保大里IC)	6km
	E3A	一般国道3号(南九州西回り自動車道(鹿児島道路))(美山IC～伊集院IC)	2km
	—	一般国道201号(八木山バイパス)(筑穂IC～穂波東IC)	8km
	4車線化計		183km

※建設中区間の延長は項目毎に端数処理をしているため、合計値と合わない場合がある

事業中のスマートIC		
路線名	スマートIC(仮称含む)	
E1	名神高速道路	黒丸スマートIC
E1A	新名神高速道路	新名神大津スマートIC
E1A	新名神高速道路	城陽スマートIC
E2	山陽自動車道	三木スマートIC
E2	山陽自動車道	篠坂PASスマートIC
E2	山陽自動車道	八本松スマートIC
E2	山陽自動車道	高陽スマートIC
E2A	中国自動車道	加計スマートIC
E9	山陰自動車道	安来スマートIC
E32	徳島自動車道	阿波市場スマートIC
E3	九州自動車道	新宮スマートIC
E3	九州自動車道	久留米南スマートIC
E10	東九州自動車道	新富新田原スマートIC
E78	東九州自動車道	霧島スマートIC



保全サービス事業

お客さまにいつでも安全・安心で快適に高速道路をご利用いただけるよう、路面や道路構造物の点検、清掃、補修などの日常的な維持管理をはじめ、24時間体制で道路巡回、交通情報の提供、料金収受などを行っています。
また、高速道路の「安全・安心」を高めるための抜本的な老朽化対策や交通安全対策、災害対策などにも取り組んでいます。

◆維持管理業務

快適な高速道路を保持するため、点検、調査、清掃、植栽作業、雪氷作業、第三者被害防止対策などを、グループ体となって効率的に実施しています。



路面補修



橋梁点検車による点検

TOPICS

構造物点検の高度化・効率化

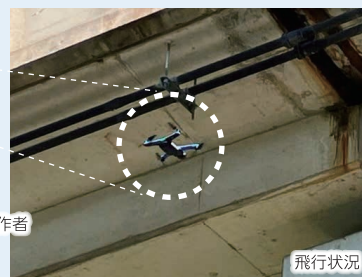
高速道路の構造物等の点検業務は、就労人口の減少や労働時間制限といった社会的課題に加え、構造物の老朽化や自然災害の頻発化・激甚化など、環境の変化により一層厳しさを増しています。このような状況においても、お客さまに安全・安心な高速道路を提供し続けるため、点検業務の高度化・効率化に向けた取り組みを進めています。

点検手法のDX事例:リアルタイム動画点検

ドローン等で撮影された映像を見ながらその場で点検の記録を行う「リアルタイム動画点検」を実施しています。
この点検支援技術を導入することにより、点検車両や作業に伴う車線規制が不要となるため、業務を効率化するとともに、高速道路を利用されるお客さまへの影響を低減することができます。



UAV操作者



飛行状況

◆道路構造物の長寿命化対策

当社管内の高速道路の約7割が開通後30年以上経過しており、道路構造物の老朽化対策が課題となっています。当社では、こうした道路構造物の老朽化に対応するため、点検、診断、措置、記録のメンテナンスサイクルを確実にを行い、予防的な保全を目指しています。また、部分的な補修の繰り返しでは建設当初の性能に回復しない場合は、リニューアルプロジェクト(大規模修繕・大規模更新)を実施しています。リニューアルプロジェクトは、交通への影響が大きいため、事前広報を十分に行うとともに、交通規制による影響を極力少なくするための各種取り組みを行っています。

●リニューアルプロジェクトの一例：橋梁の床版取替

損傷した鉄筋コンクリート床版をより耐久性の高い床版に取替



床版取替前(コンクリート床版下面)



床版取替後(プレキャストPC 床版下面)



床版取替状況

◆災害対応力の強化

●橋梁の耐震補強

大規模地震発生時に、緊急輸送路としての機能を速やかに確保できるよう、耐震補強対策を進めています。なお、橋梁において落橋・倒壊を防ぐ対策はすでに完了しています。



支承の取替前



支承の取替後

●災害対応訓練

交通機能確保等の社会的役割を果たすため、災害対応のための資機材等の準備や防災訓練等、グループ一丸となって、関係機関と連携し、ソフト面の災害対応力を強化しています。



グループ会社や関係機関との合同による段差復旧訓練



TOPICS

豪雨によるのり面崩壊

2025年8月に九州自動車道で切土のり面が崩壊し、本線内に土砂が流入しました。これを受け、速やかに流入土砂の撤去等の応急対策を行い、5日後には一部車線規制を含む形で全ての通行止めを解除しました。
近年、頻発化・激甚化する集中豪雨や台風等に対し、災害対策を行うとともに、お客さまへ通行規制に関する情報を積極的に発信しています。



被災状況



通行止め解除後

●降雪時の交通確保に向けて

冬の高速道路の安全・安心を確保するため、「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する」を基本方針に定め、凍結防止剤散布や除雪作業、冬用タイヤ装着確認等、高速道路の安全で円滑な交通確保に向けて各種対策に取り組み、大雪時の雪氷対策の強化を図っています。
気象予測情報により大雪が予測される場合は、車の立往生や滞留を未然に防ぐために「予防的通行止め」を実施しています。



梯団除雪の様子



冬用タイヤ装着確認の様子



X(旧Twitter)を活用した広報

◆料金収受

料金所では、24時間体制でお客さまサービスに努めています。現在はETC専用化などによる料金所のキャッシュレス化・タッチレス化を進めています。



ETC専用料金所のレーン運用状況

◆ドライブパスによる地域貢献

ETC車限定で対象エリアの高速道路が定額で乗り放題となる「ドライブパス(周遊パス)」のより一層の利用拡大を図るため、自治体と連携したプランや観光施設等のチケットとのセットプランなど魅力的なプランの拡充に取り組んでいます。



ドライブパス
専用サイト
「みち旅」



保全サービス事業

◆24時間体制での交通管理

24時間365日の安全・安心を守るため、道路管制センターと交通管理隊が、24時間体制で道路上の各種設備や道路巡回により情報を収集し、事故・落下物等への緊急対応やお客さまへの情報提供を行っています。



道路管制センター



高速道路上で現場対応する交通管理隊

◆交通安全対策

●正面衝突事故防止対策

反対車線への飛び出しにより正面衝突につながりやすい暫定2車線区間では、区画柵の設置・検証を実施しています。区画柵を設置済みの箇所では、正面衝突による死亡事故が0件となりました。(2026年3月現在)



●逆走対策

高速道路での逆走は、死亡事故等の重大な事故につながる可能性の高い極めて危険な行為です。「2029年までに逆走による重大事故ゼロ」を目指し、重点対策箇所(重大事故発生箇所、複数回発生箇所、平面交差箇所)を選定し対策強化を行っています。重点対策箇所については、公募技術を活用し、視覚的対策だけでなく物理的対策を中心とした対策を実施しています。



◆大型車駐車マス拡充

大型車ドライバーの確実な休憩機会の確保に向け、休憩施設における駐車マスの拡充や運用の見直しなど、混雑緩和に向けた取り組みを行っています。一部の休憩施設では、大型車駐車マスの一部を駐車時間60分以内の「短時間限定駐車マス」とし、駐車マスの回転率向上を図っています。あわせて、ダブル連結トラックなど多様化する物流ニーズに対応するため、専用駐車マスの整備を進めています。



短時間限定駐車マス



ダブル連結トラック駐車マス

大型車駐車マス拡充台数

- 2025年度 117台(実績)
- 2026年度 159台(予定)

※兼用マス・ダブル連結トラックマスを含む

建設事業

◆高速道路のネットワーク整備と機能向上

交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の代替機能強化や地域活性化などを目的として、高速道路の新規建設事業、6車線化・4車線化事業、ならびにスマートIC事業等を進めていきます。

～高速道路建設の流れ～



●新規建設事業 工事施工状況



新名神高速道路(高槻高架橋)



神戸西バイパス(第三平野西高架橋)



大和北道路(発志院北第一高架橋)

●4車線化事業 工事施工状況



広島呉道路(吉浦大川橋)



松山自動車道(橋本川橋)



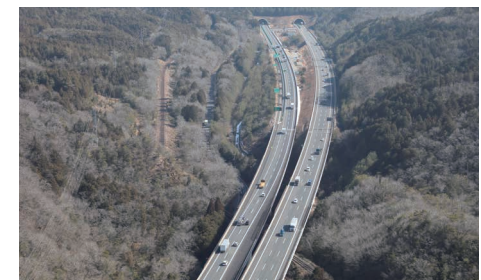
東九州自動車道(臼杵川橋)

●スマートIC

スマートICは、通行可能な車両を、ETCを搭載した車両に限定しているため、簡易な料金所の設置で済み、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。またスマートICの整備により、市街地や観光地へのアクセスが向上し、高速道路が更に利用しやすくなります。



観音寺スマートIC(高松自動車道)



新名神高速道路一部6車線化

TOPICS

2025年度・2026年度に完成した箇所

- 《6車線化》
2026.5.30 新名神高速道路(信楽IC～大津JCT(仮称)間)延長約4.8km
- 《4車線化》
2025.4.19 松山自動車道(伊予IC～内子五十崎IC間)延長約6.3km
2025.6.15 隼人道路(隼人東IC～隼人西IC間)延長約2.8km
2025.12.12 東九州自動車道(宇佐IC～院内IC間)延長約1.5km
2025.12.20 東九州自動車道(宮崎PA～清武IC間)延長約3.7km
- 《スマートIC》
2026.7.4 観音寺スマートIC(高松自動車道)

(2026年7月4日現在)

高速道路事業

安全管理

◆重大事故を防止するための工事安全管理

全ての工事において安全を第一に考え、「安全と品質を確保したうえで、工期内に工事を完成させ、社会に貢献する」という受発注者共通の目標のもと、社会から信頼される会社であり続けられるよう、工事安全管理に取り組んでいます。

●工事の安全管理体制

工事中事故を経営リスクとして捉え、経営リスク管理委員会内に工事安全推進会議を設置しています。全社的な情報共有による安全施策の水平展開や意見交換、安全技術の検討を行い、工事安全レベルの向上を図っています。

●「工事安全誓いの日」

新名神高速道路有馬川橋桁落下事故のあった4月22日を「工事安全誓いの日」と定め、4～5月に重点的に工事安全性向上の取り組みを実施しています。

●社員教育

階層別研修や外部講師を招いた講演会等で、知識向上と意識高揚を図っています。

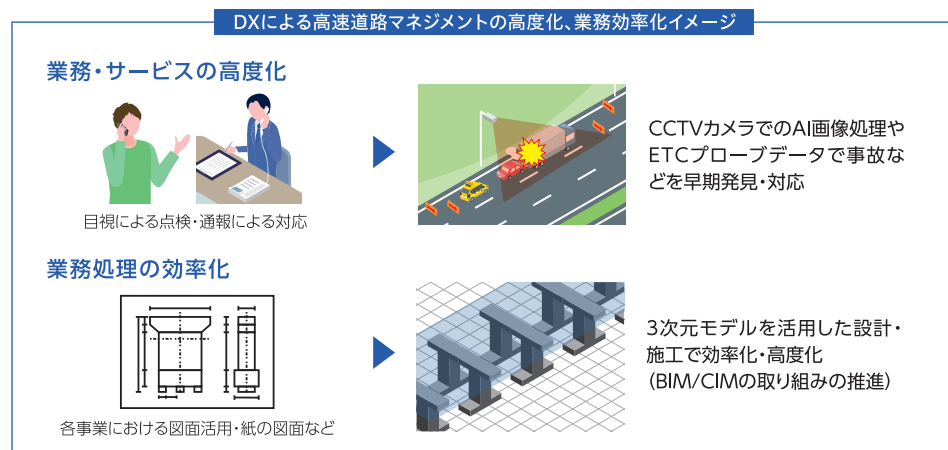


現場での安全パトロール

技術開発

◆技術開発の取り組み

安全・安心で快適な高速道路の実現を目指し、交通事故の防止、渋滞の解消、老朽化や損傷への対応、防災、環境保全などの課題に対して、最新の科学的知見を積極的に取り入れた技術開発とその実用化を推進し、合理的かつ効率的に事業を実施します。



海外事業

◆海外での事業展開

高速道路の建設・運営管理の経験により培った技術やノウハウを活かして、海外展開を進めています。

●米国における事業展開

2011年、NEXCO-West USA, Inc.を設立し、赤外線や画像診断技術を用いた構造物点検やコンサルティング事業を進めています。

●インドネシア高速道路PPP*事業へ参入

出資先会社が取り組んでいる新規建設事業・供用中道路の維持管理事業について、当社から出向している社員が技術的指導・支援を行っています。

※PPP（Public Private Partnership の略）：官と民がパートナーを組んで事業を行う官民連携の形態



出資先企業グループ社員へ技術指導を行う様子

関連事業

SA・PA事業／不動産事業／地域共創活動

◆お客さまに喜ばれる 魅力あふれるSA・PAをつくる

店舗のリニューアルを行い、多くのお客さまに喜んでいただける「くつろぎ・たのしさ・にぎわい」が実感できる店舗づくりを進めていきます。また、楽しく・魅力あるキャンペーンを通じて、「いつも立ち寄りたくなるSA・PA」の実現を目指し、クルマ旅に楽しさとワクワクを提供します。

TOPICS

九州自動車道 広川SA(上り線)リニューアルオープン

広川SA(上り線)は、八女手すき紙や和紙や久留米絨などの伝統工芸要素を内外装に取り入れ、ショッピングコーナーにも伝統工芸品を多数取り揃えるなど、筑後の魅力が凝縮された新空間として2025年12月にリニューアルしました。



八女手すき紙をイメージした淡い紫色の外装



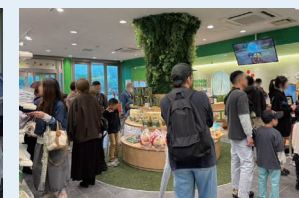
筑後地方の伝統工芸要素をあしらった店内

ピクミンテラス in 宮島SA リニューアルオープン

山陽自動車道 宮島SA(下り線)にて開催中の任天堂(株)のキャラクター「ピクミン」をテーマにした特設ショップが、新たにゲーム試遊コーナーやフォトスポットを加え2026年5月にリニューアルし、多くのお客さまにお楽しみいただいています。



特設ショップのオープンを待つ行列



賑わう特設ショップ内

◆快適な休憩を提供できるSA・PAの整備

物流支援の観点から、トラックドライバーの皆さまの疲労を回復し、心身ともにくつろぎリフレッシュできる環境づくりに取り組めます。

TOPICS

甲南PA(上下線)内にシャワーステーションを新規オープン

新名神高速道路 甲南PA(上下線)に、管内13カ所目となるシャワーステーションを2026年3月にオープンしました。スマートキーによる予約システムによりさらに利便性を向上させています。また、2026年度内には新たに茨木千提寺PA(上下線)においてもオープンを予定しています。



甲南PA(下り線)シャワーステーション棟



シャワーステーションの内装

◆不動産事業による地域価値の向上

不動産開発を通じて、地域の魅力を引き出し、持続的な賑わいの創出と活気あるまちづくりに取り組みます。

TOPICS

保有社宅跡地を分譲・賃貸住宅として地域へ還元

2026年2月より、当社初の戸建分譲「フォレストガーデン八尾木」の販売を開始いたしました。また、2026年3月には当社4件目の賃貸住宅「Sinfaria 六本松」が竣工しました。



フォレストガーデン八尾木(大阪府八尾市)



Sinfaria 六本松(福岡県福岡市)

◆地域共創活動の推進

高速道路の持つ機能やサービスを活用し、地域の新しい魅力をつくり続ける「地域のプラットフォーマー」として地域社会への貢献につなげていきます。

TOPICS

“KSUちはやSAプロジェクト”を展開

長崎県東彼杵町など4地域の魅力を発信することを目的に、福岡市の商業施設の一角で、高速道路のサービスエリアをイメージしたアンテナショップを設置しました。この取り組みは、九州産業大学(KSU)の学生をはじめ、産学官が連携して企画・運営したものです。2026年度は、更に多くの自治体との連携を予定しています。



東彼杵町アンテナショップ



東彼杵町の名産「そのぎ茶」のアレンジ商品を販売

会社概要

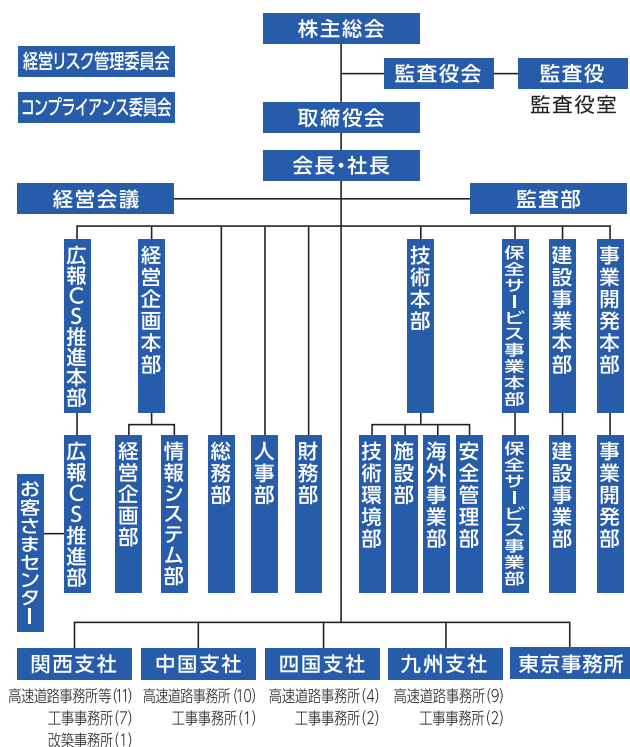
◆組織概要

商 号 西日本高速道路株式会社
(West Nippon Expressway Company Limited)
代 表 者 代表取締役社長 芝村 善治
従 業 員 数 2,712人[グループ全体 16,174人] (2026年3月末現在)
本社所在地 大阪市北区堂島一丁目6番20号
資 本 金 475億円
設立年月日 2005年10月1日

◆役員紹介

取 締 役 会 長	村尾 和俊	監 査 役	加治 英希
代 表 取 締 役 社 長	芝村 善治	監 査 役	柏原 亮
代表取締役副社長執行役員	後藤 貞二	監 査 役	村井 淳
取締役常務執行役員	村山 通夫	監 査 役	小島 幸保
取締役常務執行役員	永田 順宏		
取締役常務執行役員	安達 雅人		
取締役常務執行役員	笠谷 雅也		
取 締 役	小倉 由紀		

◆組織図



※2026年7月現在

◆グループ会社

連結子会社 27社

料金収受

- 西日本高速道路サービス関西株式会社
- 西日本高速道路サービス中国株式会社
- 西日本高速道路サービス四国株式会社(※交通管理も実施)
- 西日本高速道路サービス九州株式会社
- 西日本高速道路総合サービス沖縄株式会社(※交通管理、点検・管理、保全作業も実施)

交通管理

- 西日本高速道路パトロール関西株式会社
- 西日本高速道路パトロール中国株式会社
- 西日本高速道路パトロール九州株式会社

点検・管理

- 西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
- 西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社
- 西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社(※保全作業も実施)
- 西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
- 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社(※保全作業も実施)

保全作業

- 西日本高速道路メンテナンス関西株式会社
- 西日本高速道路メンテナンス中国株式会社
- 西日本高速道路メンテナンス九州株式会社

不動産関連業務及び人材派遣業務

- 西日本高速道路ビジネスサポート株式会社

SA・PAの運営・管理

- 西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社
- 西日本高速道路ロジスティックス株式会社
- 西日本高速道路リテール株式会社

一般自動車道事業

- 芦有ドライブウェイ株式会社

海外事業

- NEXCO-West USA, Inc.

橋梁補修技術の開発及び工事・コンサルタント・調査等事業

- 株式会社富士技建
- NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社
- NEXCO西日本イノベーションズ株式会社

維持管理システム・ITインフラ等業務

- NEXCO西日本情報テクノロジー株式会社

広告事業

- NEXCO西日本コミュニケーションズ株式会社

持分法適用の子会社 1社

SA・PAの運営・管理

- 沖縄道路サービス株式会社

関連会社 6社

システムの開発・改良及び運用管理

- 株式会社NEXCOシステムソリューションズ

研究及び技術開発

- 株式会社高速道路総合技術研究所

料金収受機械等保守整備業務及び料金収入計数管理業務等

- 高速道路トールテクノロジー株式会社

保険代理業務

- 株式会社NEXCO保険サービス

トラックターミナルの運営

- 九州高速道路ターミナル株式会社

海外事業

- 日本高速道路インターナショナル株式会社

西日本高速道路株式会社

〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ18F
Tel: 06-6344-4000(代表) <https://www.w-nexco.co.jp>

2026.07

